



「ガmazumi」。鳥居付近14. 10. 12撮影

普代の植物散歩

2ガmazumi (すいかずら科)



落葉前の十月中ごろ房状のあざやかな赤い実が、葉の緑と調和して、ひととき目立つ。実は食べられるが、頬がゆがむほどすっぱい、霜が降りるころになると甘みを増す。

十月十二日に、鳥居地区で見たガmazumiは、その後何日かして行ってみたら、全部がなくなっていた。果実酒にはすっぱい実がよいので、はやばや採っていったのであろうか。青森県の地方紙に「ガmazumiを栽培している農家が、ガmazumiを盗まれた」記事があった。ガmazumi畑があるのには驚いた。また、青森県の南郷村産直センターで、ガmazumiを販売していた。これにはいてねいにガmazumi酒の作り方、効能書きが添えられていた。ガmazumiの花は六月ころに咲く、房状の白い花である。

ガmazumiは普代村の山野に自生し、ふつうに見られる落葉低木である。

いわてくじ農協組合長に片座氏就任

いわてくじ農協の理事会が、九月十六日開かれ新代表理事組合長に片座亮一氏が選任されました。



代表理事組合長

片座亮一氏

普代中卒。旧普代農協組合長、いわてくじ農協代表理事副組合長を経て平成12年5月理事。普代村議6期。黒崎出身。69歳

任期は、石川正英前組合長(久慈市)の残任期間の平成十五年の五月までです。

入賞者20個人
7団体を表彰

第23回総合文化祭

村民の技「そろり」

十一月九、十日の両日、第二十三回村総合文化祭が村社会体育館を主会場に行われました。会場には丹精込めて作った農林水産物や文芸作品を展示。社会を明るくする運動のビデオ上映、フリーマーケット、地場産品の即売、ふれあいバザー、手打ちうどんやこんぶ入りうどんの無料サービス、もちまき大会、有効町村

文化部門

各部門ごとに審査が行われ、二十個人、七団体が表彰されました。入賞者は次のとおりです。敬称略

▽村教育長賞 大上高司(油

絵・平安時代の女性)▽村教育

長奨励賞 山下武雄(ミカンの

木) 松葉まどか(陶芸) 坂

下正己(物置)▽村芸術文化

協会賞 佐々木一實(まきりさ

や) 普代村デザイナービス(松

かさアート)

産業部門

◇農林産物の部▽金賞 森子

ミツノ(寒じめホウレンソウ)▽

いわて農林水産振興協議会長賞

(特別賞) 正路正明(生シイ

タケ)▽久慈地方農業・農村活

性化推進協議会長賞(同) 畠

山春松(雨よけホウレンソウ)▽

普代村農業改良普及協議会長賞

(同)▽銀賞 畠山長次郎(雨

よけホウレンソウ) 坂本幸子

(ニンジン) 坂本孝幸(大根)

▽銅賞 野口幹夫(ゆり) 中居ツル(乾しいたけ) 坂本孝



総合文化祭の最後を飾るもちまき大会は大人気

幸(ゴボウ) 新屋ナツ(春菊) 太田澄子(小豆)◇水産物の部▽金賞 リアスグループ(リアス薫)▽いわて農林水産振興協議会長賞(特別賞)▽銀賞 太田文吾(天然黒昆布) 秋沼の鼻漁場(アジ開き) 自営定置(新巻き鮭) 赤坂スエ(マツモ)▽銅賞 からはし漁場(新巻き) アンモ浦漁場(スルメ) 平磯漁場(新巻き鮭) 太田真智子(天然干し昆布) 太田澄子(マツモ) 前川トキ(ひじき)